

多可高校50周年を祝う記念式典
ベルディーホール



多可高50年 飛躍誓い校歌斎唱

記念式典、マック鈴木さんの講演も



県内高校別の
特設ページは
こちら

多可高校の創立50周年記念式典が13日、多可町中区中村町のベルディーホールで開かれた。生徒や地域住民ら約110人が地域に根差す同校のさらなる飛躍を願い、校歌を斎唱した。

同校は1974年、西脇北高校多可分校として設立され、76年に多可高校として独立。「福祉のこころ」の育成を主軸に、現在は福祉ボランティア▽総合カルチャー▽情報ビジネスの3類型があり、これまでに約7400人が卒立つた。

式典前、生徒が勇壮な太鼓演奏を披露。卒業生や在校生

が写った授業風景とともに学校の沿革を紹介する映像が流れた。式典で木澤直子校長が「心豊かで、たくましく生きる人を目指して日々新たに努力をしていく」とあいさつ。生徒会長の2年大西心温さん(17)は「今後も学びやで大切な友と出会い、成長し続け、勇気あるチャレンジャーとして未来の日本が船出する原動力になれるよう誓う」と述べた。最後に参加者全員で校歌を斎唱した。

元メジャーリーガーのマック鈴木(本名・鈴木誠)さん(神戸市須磨区出身)が米国での下積み時代を振り返って講演し「世界に飛び出して活躍し、また地元に戻って発展に協力してもらつたら親も喜ぶ」と呼びかけた。(村上亮宏)